

◆大ホール（2階）上映企画

# よみがえるフィルムと技術

Rediscovering the Beauty of Film and Film Technique

2017年5月13日（土）—5月21日（日）

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

特別協力：一般社団法人 日本映画テレビ技術協会



時をかける少女[再タイミング版] ©KADOKAWA1983

平素よりお世話になっております。フィルムセンター（NFC）は電気工事等により長く休館しておりますが、**5月13日（土）**より上映・展示・図書室そろって再開いたします。

2017年度最初の上映企画は、一般社団法人 日本映画テレビ技術協会（MPTE）の創立70周年を記念して、日本映画の画面や音響を創り上げてきた撮影・照明・美術・録音など各パートの技術、そしてそれらを支えるラボ（現像所）の技術を再発見する試みです。同協会の顕彰による日本映画技術賞（選奨含む）を受賞した14本（10プログラム）の作品を、当館所蔵の良質のプリントによって、また、当館が2015～2016年度に復元した4本（3プログラム）の作品を上映します。

映画は芸術であると同時に科学であり、ラボや撮影所の技術者たちは、フィルムによる映画表現の創造性を高めるために、地道な研究開発やさまざまな工夫を積み上げてきました。映画を、その公開当時に限りなく近い状態で保存することを責務とする当館の保存復元事業を支えるのも、これらの技術です。劇映画やドキュメンタリー、アニメーションにおける華麗で卓越した技術と共に、フィルム復元における、より気づきにくいラボの技術を、作品観覧を通してお楽しみいただくことができます。

期間中には、研究員によるトークイベントを開催予定のほか、日本映画テレビ技術協会との共催による、アーカイブセミナーの開催も予定しております（定員制、事前申込あり）。

当館ならではの本上映企画を、ぜひともご周知いただきますようお願い申し上げます。

## ■開催概要

企画名：よみがえるフィルムと技術 Rediscovering the Beauty of Film and Film Technique

会期：2017年5月13日（土）—5月21日（日）＊月曜休館

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール（2階）

料金：一般520円／高校・大学生・シニア310円／小・中学生100円／障害者（付添者は原則1名まで）、キャンパスメンバーズは無料

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

特別協力：一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

URL：<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/yomigaeru-2017-5/>

## ■研究員によるトークイベント（上映作品についての解説）

5月13日（土）、5月14日（日）、5月20日（土）いずれも1:00pmの回上映終了後 ＊入場無料

## ■NFC & MPTE アーカイブセミナー ※応募要領は下記 HP に掲載しています

<http://www.momat.go.jp/fc/learn/sympo/>

## ■上映作品

### ◆日本映画技術賞受賞作品/14本 (10プログラム)

#### 1.グッドバイ (女性操縦法) 【改題短縮版】 1949年 (監) 島耕二

第3回 (1949年度) 日本映画技術賞受賞 (録音: 神谷正和ならびに新東宝技術課音響整備係)

#### 2.煙突の見える場所 1953年 (監) 五所平之助

第7回 (1953年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 三浦光雄)

#### 3.近松物語 1954年 (監) 溝口健二 \* 英語字幕付

第8回 (1954年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 宮川一夫 照明: 岡本健一)

#### 4.座頭市と用心棒 1970年 (監) (脚) 岡本喜八

第24回 (1970年度) 日本映画技術賞受賞 (照明: 中岡源権)

#### 5.忘れえぬ慕情 1956年 (監) (脚) イヴ・シャンピ

第10回 (1956年度) 日本映画技術賞受賞 (特殊技術: 松竹大船撮影所関係技術スタッフ)

#### 6.世界の動き 第一集 朝鮮 1953年 (構成・編集) 須永五郎、工藤晴雄

第7回 (1953年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 林田重男)



ジャズ娘誕生

#### エラブの海 1960年 (監) (脚) 西尾善介

第14回 (1960年度) 日本映画技術賞 (水中撮影: 日映新社水中撮影班) ならびに選奨 (録音: 国島正男) 受賞

#### 7.その場所に女ありて 1962年 (監) (脚) 鈴木英夫

第16回 (1962年度) 日本映画技術賞受賞 (美術: 竹中和雄)

#### 8.陸軍残虐物語 1963年 (監) 佐藤純弥

第17回 (1963年度) 日本映画技術賞選奨受賞 (美術: 近藤照男)

#### 9.古都 1963年 (監) 中村登

第17回 (1963年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 成島東一郎)

#### 10.マッチ売りの少女 1967年 (監) 渡辺和彦

第21回 (1967年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 平井寛)

#### みにくいあひるの子 1968年 (監) (脚) 渡辺和彦

第22階 (1968年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 平井寛他関係スタッフ)



千人針

#### 雪の女王 THE SNOW QUEEN 1978年 (監) (脚) 渡辺和彦

第32回 (1978年度) 日本映画技術賞受賞 (撮影: 阿部行雄)

#### 火宅 能「求塚」より 1978年 (監) (脚) (人形) (アニメーション) 川本喜八郎

第33回 (1979年度) 日本映画技術賞受賞 (アニメーション技術: 川本喜八郎)

### ◆フィルムセンター復元作品/4本 (3プログラム)

#### 11.ジャズ娘誕生 【デジタル復元版】 1957年 (監) 春原政久

国産三原色カラーシステム「コニカラー」の可燃性原版を直接スキャンしたデータに修復を施し、当時の絢爛たる色彩が蘇った。ハスキーボイスを丁寧に復元したチエミの圧巻の歌声も必聴。冒頭に3分の復元デモを含む。

#### 12.日本南極探検 【デジタル復元版】 1912年 (撮) 田泉保直

Mパテー商会技師、田泉保直が撮影した日本最古の長篇記録映画。冒頭に3分の復元デモを含む。

#### 千人針 【デジタル復元版】 1937年 (監) 三枝源次郎

二色式カラー映画。ロシアのゴスフィルムフォンドで確認された可燃性ポジを基に、同方式では再現しえない色域を確定させたうえで、色の復元を行った。現存版(534m)は、完全版(1,062m)から半分程度が欠落している。冒頭に3分の復元デモを含む。

#### 13.時をかける少女 【再タイミング版】 1983年 (監) (脚) 大林宣彦

阪本善尚カメラマン監修のもと、当時タイミングを担当したフィルムセンター技術スタッフから、現役のタイミングマンへ技術的助言を行いながら、全574カットについて複数回の再タイミングを施すという、当館初の試みを実施した。その結果、オリジナルネガが良好な状態に保たれている作品であれば、現在入手可能な機材やポジフィルムを使用して、映画完成時に極めて近い色彩を再現できることが明らかになった。

#### 【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当

電話: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830 E-mail: nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6